

《経営の基本方針》	
1	生徒職員が安心して個性を發揮できる学校経営
2	秩序を大切にし、組織力が発揮できる学校経営
3	保護者・地域の願いに応え、協働連携し、地域に信頼される学校経営
4	こども園・小学校（小中一貫教育）・高等学校と連携を深める学校経営
5	常に「不易」と「流行」を意識した学校経営

《めざす学校像》	
1	生徒・保護者・教師が笑顔で協働する学校
2	地域の教育力を生徒の学力に繋げる学校
3	一人ひとりが輝く、教育相談・支援・特別活動が充実した学校
4	安心して生活ができる、安全管理の行き届いた学校

令和7年度 須賀川市立大東中学校 経営・運営ビジョン

教育目標

基本目標	人間性豊かな心身ともに健康な生徒
具体目標	自主…何事にも意欲的に取り組み、最後までやり抜く生徒 敬愛…よく考え、思いやりをもって行動できる生徒 健康…健康で安全な生活ができる生徒

《スローガン》 生徒一人一人の能力や可能性を引き出し、 生徒の夢実現に向けた教育活動を実践する。

《重点目標1》 自主

- 目標に向かって主体的に学習し、考えを聞き合える生徒の育成

《実践事項》

- 1 一人残らず学び続ける「協同的な学び」の実践
 - ジャンプのある課題提示による、男女市松4人での聴き合い=学び合いの場の設定
 - 生徒が見方・考え方を働きかせ、深い学びが成立する追究場面の設定
 - 授業でICTを活用するための研修の充実、授業の推進
- 2 家庭学習の習慣化と内容の充実
 - 基礎・基本の定着につなげる家庭学習指導（学習の手引き）の活用、授業と関連した家庭学習の提示）
 - 自主学習の質を向上させる的確なアドバイス（担任外の教師も含めたノート点検とコメント記入）
 - 保護者と連携した、家庭学習強化週間の実践（テスト前やメディアコントロールとの関連付け）
- 3 「協同的な学び」ができる教師集団づくり
 - 原則月2回の授業研究会による校内研修の活性化（行事等を踏まえた実施時期の柔軟化）
 - 「生徒の学ぶ姿」を見取る「目」「視点」の資質向上
- 4 深まりのある学びに繋げるための読書活動の推進
 - 図書委員会を中心とした読書環境の充実
 - 朝読活動の充実とデジタルコントロールの読書推奨

《達成目標》

- 1 学力テスト（5教科）において、各教科の平均が県平均を超える。
- 2 授業の中で、聴き合う・学び合う活動が常態化している。
- 3 生徒・教師ともに、「自主」に関する自己評価で、平均が3.1を上回る。

《重点目標2》 敬愛

- 自分の可能性に向かい、思いやりの心をもつて、責任ある言動ができる生徒の育成

《実践事項》

- 1 道徳教育の充実
 - 「考え・議論する」「相手の立場や気持ちを考え、対話を大切にする」道徳授業の推進
 - 教科の指導内容や学校行事と関連づけ、地域の特色を生かした体験による道徳性の育成
- 2 一人も取り残さない「協同的な学び」の推進による、共に学び、高め合う、学級・学年集団の育成
 - 望ましい人間関係づくりの為の積極的な生徒指導
 - 人権・心の教育を基盤とした、いじめ防止
 - 自らの役割や責任を自覚できる特別活動の充実
 - 主体となる係・生徒会活動の充実とリーダーの育成
- 3 キャリア教育の充実とSDGs活動の推奨
 - 出前授業や体験活動を通じた自分の可能性を見つける進路指導の充実
 - 奉仕の心で社会や集団に貢献する、清掃・ボランティア活動の充実と情報化社会に生きるモラルの確立
- 4 教育相談の充実
 - 生徒が相談しやすい雰囲気づくりとSCとの連携
 - 「生活アンケート」等を活用した、諸問題の未然防止、早期発見、早期対応

《達成目標》

- 1 いじめの防止、早期発見・早期対応に努め、発生件数をできる限り少なくする。
- 2 新たな不登校生徒を生み出さない。
- 3 生徒・教師ともに「敬愛」に関する自己評価で、平均が3.2を上回る。

《めざす生徒像》

- 1 生き生きと活動し、何事にも本気で取り組む生徒
- 2 明るく、活気あるあいさつができる生徒
- 3 学習へ真摯に取り組むことができる生徒
- 4 互いに助け合い、励まし合い、共に高め合う生徒
- 5 礼儀正しく、思いやりがあり、人権を大切にする生徒
- 6 奉仕の心で、整理整頓と清掃に取り組む生徒

《めざす職員像》

- 1 立志と夢の実現に向かわせることのできる職員
- 2 生徒に寄り添い、思いや行動に共感できる職員
- 3 授業と授業研究、生徒の学びを第一にする職員
- 4 研鑽に励み、専門職としての資質を高める職員
- 5 個性・職種・役割を理解し、協力し合える職員
- 6 安全・安心のため常に環境確認を怠らない職員

《重点目標3》 健康

- 心身ともに健康で、活力があり、安全な生活ができる生徒の育成

《実践事項》

- 1 基本的生活習慣の育成
 - 「生活のこころえ」によるルールやマナーの指導（あいさつ、返事、言葉遣い、時間を守る、身だしなみ）
 - 生徒指導部を中心とした課題の共通理解と改善策の検討並びに共通実践
- 2 安全教育の充実
 - 命の大切さの指導を中心とした、危険回避能力の育成（防災教育、交通安全指導の充実）
 - 実態に即した安全管理マニュアルの活用・改善
- 3 体力・運動能力の向上
 - 主体的な活動による体力・運動能力向上のための取組の充実（保健体育、体育的行事、部活動等）
 - 15年間を通して体力向上を図るために幼保小中連携
- 4 健康教育の充実
 - 感染症予防のための「手洗い・うがい」の実践指導
 - 規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）の推進とメディアコントロール（読書・家族団欒等）の推奨
 - 食育指導や給食など活用した、望ましい食習慣づくりの支援と肥満予防セルフコントロール力の育成
 - むし歯治療率向上を目指した予防や治療の指導強化と自分手帳活用による生活習慣の改善

《達成目標》

- 1 生徒ののがを前年度より減らし、事件事故発生件数を0にすること。
- 2 感染症対策を徹底し、校内で感染拡大を起こさない。
- 3 生徒・教師ともに「健康」に関する自己評価で、平均が3.3を上回る。